



平成22年度(平成23年3月期)
第3四半期決算
Conference Call

平成23年1月31日



塩野義製薬株式会社



将来見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。その情報は、現時点において入手可能な情報から予測した見込み、リスクを伴う想定、実質的に異なる結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利や為替レートの変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に既存および開発中の製品に関連した見通し情報に存在します。それらには、臨床試験の完了ならびに中止、規制当局からの承認取得、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念の発生、技術の進歩、重大な訴訟における不利な判決、国内外各国の保健関連制度の改革や法規制などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
また、既存製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品(開発中の製品を含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。



平成22年度 第3四半期決算の概要

平成22年度 第3四半期決算



経営成績

(単位:億円)

< 連結 >	22年度 予測	22年4-12月 実績	対 予測 進捗率 (%)	21年4-12月 実績	対 前年 UP率 (%)	増減
売上高	2,830	2,172	76.8	2,064	5.2	108
営業利益	540	357	66.1	350	1.9	7
経常利益	515	337	65.5	333	1.0	4
四半期純利益	300	135	45.1	255	△47.0	△120

< 単体 >	22年度 予測	22年4-12月 実績	対 予測 進捗率 (%)	21年4-12月 実績	対 前年 UP率 (%)	増減
売上高	2,440	1,874	76.8	1,694	10.7	180
営業利益	606	445	73.5	324	37.2	121
経常利益	596	439	73.7	324	35.3	115
四半期純利益	453	294	64.9	248	18.3	46

注: 決算期の変更により、22年4-12月実績は、米国子会社について、22年1月~12月の12ヵ月分を計上

平成22年度 第3四半期決算

財政状態およびキャッシュ・フローの状況（連結）



（単位：億円）

<財政状態>	22年12月期 実績	22年3月期 実績	増減
総資産	5,056	5,407	△351
純資産	3,226	3,419	△193
自己資本比率	63.8%	63.2%	+0.6%
1株当たり純資産	963円	1,019円	△56円

<キャッシュ・フローの状況>	22年4-12月 実績	21年4-12月 実績	増減
営業活動によるC/F	340	325	15
投資活動によるC/F	△165	△76	△89
財務活動によるC/F	△204	13	△217
計	△56	254	△310
現金等期末残高	919	769	-

平成22年度 第3四半期決算

主要製品売上高（連結）



（単位：億円）

	22年度 下期予測	22年10-12月 実績	対 予測 進捗率 (%)	21年10-12月 実績	対 前年 UP率 (%)	22年4-12月 実績	21年4-12月 実績	対 前年 UP率 (%)
国内医療用医薬品	803	439	54.6	424	3.3	1,190	1,171	1.6
クレストール	155	84	53.9	69	21.0	220	184	19.6
イルベタン	45	22	48.2	12	75.0	55	25	122.4
サインバルタ	17	9	51.7	-	-	18	-	-
戦略3品目合計	217	114	52.6	82	40.1	293	209	40.1
オキシコンチン	50	27	54.0	25	7.7	75	67	11.4
フィニバックス	22	10	43.5	8	18.1	28	26	7.6
ディフェリン	15	10	62.0	6	54.4	24	16	47.6
ピレスパ	17	8	46.0	4	79.7	21	11	95.7
ラピアクタ	18	△3	-	-	-	△3	-	-
戦略8品目合計	340	166	48.7	125	32.1	437	328	33.0
フロモックス	100	66	65.7	79	△16.6	167	192	△13.0
リンデロン等外用	41	23	57.2	23	△0.5	74	75	△1.5
フルマリン	30	21	68.4	23	△9.9	60	70	△14.7
クラリチン	51	22	43.5	20	9.1	53	55	△3.2
塩酸バンコマイシン	17	14	80.9	15	△6.9	40	49	△19.1
輸出/海外子会社	182	87	47.8	127	△31.5	347	365	△5.1
シオノギInc.	129	56	43.5	99	△43.5	266	283	△6.0
ドリペネム	29	17	58.5	13	35.8	42	42	0.6
製造受託	16	19	119.1	19	0.3	37	53	△30.2
一般用医薬品	27	13	49.3	14	△3.4	42	43	△3.8
診断薬	13	7	50.9	6	7.5	21	21	△2.2
ロイヤリティ収入	335	167	50.2	138	21.5	516	378	36.6
クレストール	307	152	49.4	132	15.1	480	357	34.2
その他	22	7	33.2	10	△28.7	19	31	△38.8
合計	1,397	739	52.9	738	0.1	2,172	2,064	5.2

平成22年度 第3四半期決算

損益計算書(連結)



(単位:億円)

	22年度 下期予測	22年 10-12月 実績	対 予測 進捗率 (%)	21年 10-12月 実績	対 前年 UP率 (%)	22年 4-12月 実績	21年 4-12月 実績	対 前年 UP率 (%)
売上高	1,396	739	52.9	738	0.1	2,172	2,064	5.2
(ロイヤリティー収入)	(334)	(167)	(50.2)	(138)	(21.5)	(516)	(378)	(36.6)
売上原価	26.7 (35.1) 372	29.6 (38.3) 219	58.8	27.5 (33.8) 202	8.0	28.1 (36.8) 609	27.7 (33.9) 571	6.7
売上総利益	1,023	520	50.8	535	△2.9	1,563	1,493	4.7
販売費・一般管理費	48.4 676	48.1 355	52.5	49.3 363	△2.3	55.5 1,206	55.4 1,142	5.5
販売・管理費	422	245	58.1	238	3.1	815	738	10.4
研究開発費	254	109	43.2	125	△12.5	391	404	△3.4
営業利益	24.9 347	22.3 164	47.4	23.3 171	△4.1	16.4 357	17.0 350	1.9

平成22年度 第3四半期決算

米国事業の業績

(単位:百万ドル)



	22年度 下期予測	10-12月 実績	対 予測 進捗率 (%)	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績
売上高	160 (129億円)	68 (56億円)	42.5	110 (101億円)	56 (51億円)	69 (58億円)
売上原価	27 (21億円)	12 (10億円)	44.4	18 (16億円)	23 (21億円)	15 (13億円)
販売費・ 一般管理費	113 (90億円)	55 (45億円)	48.6	76 (70億円)	83 (76億円)	54 (46億円)
営業利益	20 (18億円)	1 (1億円)	5.0	16 (15億円)	△51 (△46億円)	△1 (△0億円)
特別損失	L 68 (L 56億円)	L 62 (L 54億円)	-	- (-)	L 25 (L 23億円)	L 47 (L 42億円)

<第3四半期の状況>

- 一部製品の品質問題による返品が発生、送品の遅延、およびリコール費用の発生
- 第3四半期での特別損失の計上
 - 販売中止品目についての無形資産の減損:42億円
 - 事業構造改善費用:8億円
 - リコール費用:3億円



平成22年度 業績予測

平成22年度 業績予測



平成22年度 業績予測

(単位:億円)

< 連結 >	22年度 予測	21年度 実績	対前年 UP率 (%)	増減
売上高	2,830	2,785	1.6	45
営業利益	540	524	3.0	16
経常利益	515	505	1.9	10
当期純利益	300	386	△22.3	△86

注: 決算期の変更により、米国子会社について、22年1月～23年3月の15ヵ月分を計上

平成22年度 業績予測



米国事業の業績予想の修正および取り組み

(単位:百万ドル)

	22年度 従来予測	22年度 修正予測	修正額	22年度上期 実績*	22年度下期 修正予測
売上高	395 (339億円)	382 (329億円)	△13 (△10億円)	235 (210億円)	147 (119億円)
売上原価	83 (72億円)	82 (71億円)	△1 (△1億円)	56 (50億円)	26 (21億円)
販売費・ 一般管理費	327 (281億円)	324 (279億円)	△3 (△2億円)	214 (191億円)	110 (88億円)
営業利益	△15 (△13億円)	△24 (△21億円)	△9 (△8億円)	△35 (△32億円)	11 (11億円)
特別損失	L 140 (L 120億円)	L 144 (L 124億円)	L 4 (L 4億円)	L 72 (L 65億円)	L 72 (L 59億円)

(*:22年1~9月の9ヵ月分)

<下期の取り組み>

- 当面の事業運営において、さらなる効率的・安定的な運営に向けた以下の取り組みを実施中
 - 4月からの新体制を目指し、New Jerseyへの集約を実施(Atlanta:物流拠点を除き6月に閉鎖予定)
 - 製造における品質改善のため、日米間での協働体制を整備、日本からエキスパートを派遣して対応中
 - 開発パイプラインの意思決定にかかる日米のガバナンスを一本化
 - 販売ポートフォリオの改善に向けて、積極的にライセンス活動を継続
- 下期での特別損失の見込み額
 - 販売中止品目についての無形資産の減損:42億円
 - 事業構造改善費用:14億円
 - リコール費用:3億円

パイプラインの状況

開発品の進展（第2四半期決算発表時以降）

◆ 新発売

- KAPVAY™（クロニジン塩酸塩、選択的 $\alpha 2$ 受容体アゴニスト、経口）：
注意欠陥多動性障害（ADHD）（小児）
 - 米国：発売 2011年1月
 - 単剤投与に加えて、既存の中枢神経刺激薬との併用投与も可能な、
唯一のADHD治療薬

◆ フェーズの進展

- S-888711（低分子TPOミメティック、経口）：血小板減少症
 - 日本：フェーズIIa
- S-488410（ペプチドがんワクチン、注射）：食道がん
 - 日本：フェーズI/II

ライセンス契約

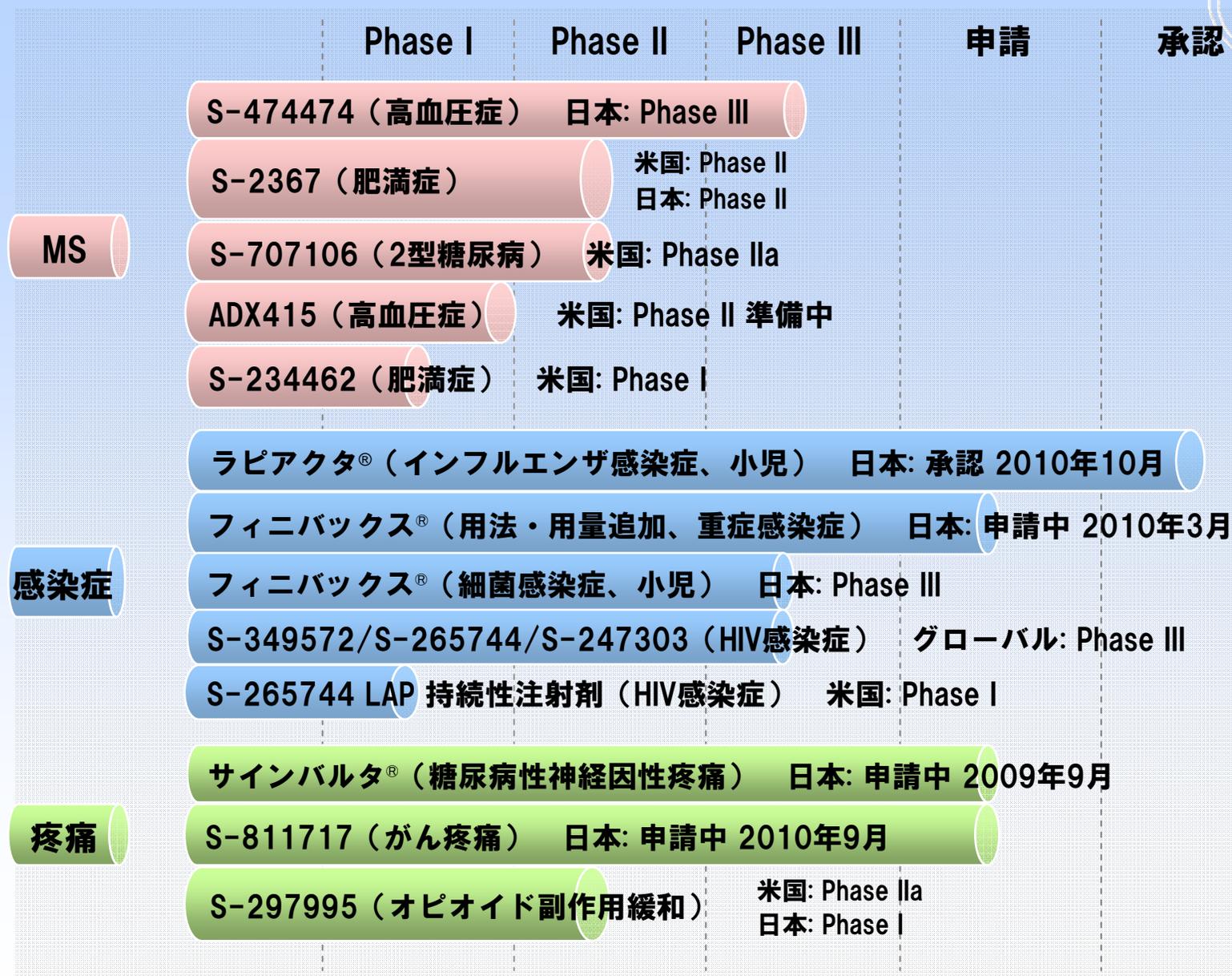
◆ 眼科領域における治療用ペプチドワクチン

- オンコセラピー・サイエンス社より導入
 - 全世界における独占的な開発・製造・販売権を取得
- 加齢黄斑変性症をはじめとした網膜の血管増殖性病変に起因する疾患が対象
- 免疫系を活性化することにより、破れやすい新生血管を形成する血管内皮細胞を特異的に消滅させ、網膜における血管増殖性病変を改善させる効果が期待される

◆ NF-κBデコイオリゴ(アトピー性皮膚炎治療薬)

- アンジェスMG社と契約
 - 共同開発および全世界において独占的に販売する権利を取得
- アトピー性皮膚炎をはじめとする皮膚疾患を対象とした核酸医薬
- 炎症に関わる遺伝子発現制御因子であるNF-κBが結合すべき遺伝子の転写調節領域に、デコイオリゴがNF-κBに成りすまして結合することで、炎症に関連する種々の遺伝子発現を阻害する新しいタイプの治療薬となる可能性をもつ

パイプラインの状況（2011年1月時点）



パイプラインの状況（2011年1月時点）





End of File